

栗原産業株式会社



生産拠点（小信工場）

- 本社所在地：
愛知県一宮市開明字杵先5
- 事業概要：
自動車部品を中心に使用される
ゴム・スポンジ・フェルト部品の
製造販売
- 常時使用する従業員：210名
(2025年8月時点)
- 現在の売上高：5.4億円
(2024年12月期)
- 法人番号：7180001084217
- Web：
<https://www.kurihara-sangyo.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
岩田 巨巨

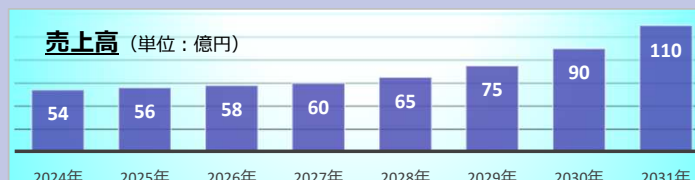
技術と挑戦で、顧客・社員・地域社会と共に持続的成長をお約束

栗原産業株式会社は創業以来、独自の技術開発力を駆使し、自動車業界を中心に全てのお客様と共に発展してまいりました。今後も100億企業を目指す中で、その成長を通じてお客様に高付加価値の製品・サービスを提供し、地域社会に安定した雇用と環境への配慮をもたらし、社員一人ひとりが成長し誇りを持って働ける企業を実現します。これにより、私たちの経営理念である『お客様に満足を買っていただく』を全てのステークホルダーに届け、共に持続的な発展を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2031年の売上高100億円達成に向け、平均年率10%程度の成長を目指す。



課題

生産能力不足

当社独自の粘着製造ラインは現在フル稼働しており、追加生産に対応できる余力がない。

人員不足

生産量が増加した場合、製造部門だけでなく、間接部門（管理、物流、品質管理など）にも追加の人員が必要。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

環境に配慮した高生産設備を導入し、原料搬入から製品出荷までを同一拠点で一貫生産する。さらに、基幹システムの改良やRPA・AI-OCRなどのDXを推進し、売上増にも既存人員で対応できる効率的な体制を構築することで、社員の待遇向上とコスト競争力の強化を図る。

実施体制

計画推進にあたっては、担当役員をプロジェクトリーダーに任命し、関係部署が連携して進捗を管理する。各部署は設定した目標に基づき、設備導入・DX推進・業務改善を分担して実行する。また、問題や課題が発生した場合には、毎月開催される役員会議で迅速に報告・協議し、即時に対応策を決定できる体制を構築することで、計画の着実な達成を図る。